

郷土の会だより

発行責任者
岡村昭則

「専科二期校友会クラス理事会」が
開かれました(5月14日開催)

郷土・出席者 相場恒夫、大阿久聖一、
北氏和雄、田中 忠、松野吉光

5月14日県民活動センターにおいてクラス理事
会が開催されました、概要を報告します。

伊奈連協平成22年度事業計画(案)

1. 平成22年度総会、理事会の実施日

2. 伊奈連協事業

3. 県連協等事業

伊奈連協事業として「第19回合同研修会」が11
月26日に決定されている、担当19期で専科1
期は補助参加する。

・第19回合同研修実施計画(提案書) 伊奈連
協会長に提出

・19期校友会&第1期専科担当「合同研修
会の役割」(6月11日次回理事会で決定)

第1回ミニミニ通信の発行 ホームページに
掲載(5月18日掲載)

- ・校友会第1回理事会議事録
- ・校友会の活動予定
- ・各コースの活動予定
- ・各クラブの活動予定

ホームページ・伊奈いきがいネットク ラブ編集委員会 (5月19日開催)

出席者 岡村 昭則

今年度第2回編集委員会が伊奈学園で午後5時
から開かれました。専科からは健康コースの伊藤
さんも出席しました。

7日に開かれたネットクラブの理事会報告
個人ホームページの新しいURL移行について

35名が完了した旨が報告されましたが、バックア
ップについて確保できない人が大勢いるので、後
日補講を行うこと。

OLF・NETの所有者である中島さんの技
術を伝授するために5名の技術員が任命され学園
より委嘱状を渡していること。

伊奈いきがいネットクラブのサイトを立ち上げ
ていること。

メーリングリスト加盟が4件。この中には専科
三コースが入っていること。

21期生と専科二期生のホームページ委員の説
明会に専科一期生も参加要請あり。私がアシスタ
ントとして参加する旨を報告。

田中健委員より、昨年同様にホームページ委員
を中心に8月にホームページ講習会を開く報告し
たので、私の方から講習を受けた感想として、「ホ
ームページ立上げをすることを簡単に理解しや
すい講習内容にしてほしい」と申し入れたことで、
いろんな意見が出て検討して改善したいとまとめ
られた。期待したい。

二十一年度公開学習・講座

7月9日 公開学習 さいたま市文化センター
12月3日 公開学習 さいたま市文化センター

12月22日 公開講座 「郷土の偉人 荻野吟子」

1月20日 公開講座 「日本の文化と心の健康」

2月14日 公開講座 「日本の農業問題」

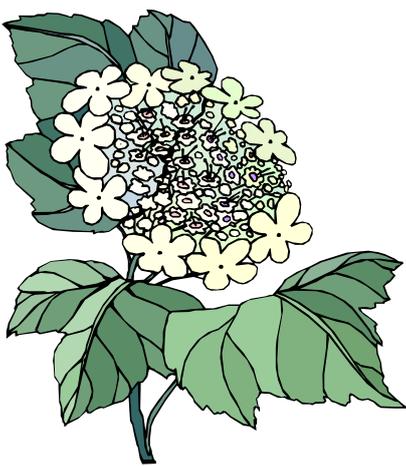
2月22日 公開講座 「日本の文化と心の健康」

2月23日 公開講座 「日本の文化と心の健康」

2月28日 公開講座 「脳科学について」

3月2日 公開講座 「脳科学について」

セミナーム2
セミナーム2
セミナーム2
セミナーム2
セミナーム2
セミナーム2
セミナーム2



伊奈連協事業

第十三回グラウンドゴルフ大会（兼県連大会選
手選考会）
9月10日（予備日9月17日） 県活センター
第十七回親睦ダンスパーティ
11月8日 西武文化センター
第十九回合同研修会
11月26日 県活センター
社会活動部の交流・連帯（いきいきフェスティ
バル他）
11月7日 県活センター
伊奈学園学園祭 10月20日～22日 3日間
22日はOBの日 県活センター

県連協等事業

第1回公開学習

7月9日 さいたま市文化センター
高齢者創作展
9月10日～13日 埼玉会館
社交ダンスの集い
10月8日 上尾運動公園体育館
グラウンドゴルフ交歓大会
10月20日（予備日10月27日）上尾運動公園補
助競技場
彩の国いきいきフェスティバル

第19回合同研修会実施計画（提案書） 19期校友会・専科1期校友会担当

彩の国いきがい大学伊奈学園校友会連絡協議会
会長 第15期 島田 金藏 様

第19期校友会 会長 早戸 憲吾
第1期専科校友会会長 田中 忠

今年度合同研修会は第19期校友会及び第1期専科校友会が主たる事務局を担当し、計画を推進する事になって
いますが、今年度校友会参加率が多少減少する事を見込んで、昨年度の研修会参加者（622名）に、今度第
19期校友会（115名）及び第1期専科校友会（115名）が加わると総勢800名規模の合同研修会となること
が予測され、実施方法について以下の提案をさせていただきますのでご検討方針をお願い申し上げます。

【基 本 項 目】

1. 実施日時：平成22年11月26日（金）am:09:15～pm:4:00
 2. 開催場所：埼玉県民活動総合センター小ホール他（既に伊奈連絡会で予約されている）
- （第19期及び専科1期の提案）従来案を一部改善する
改善点：①合同研修の目的を実現するため研修会冒頭に「開講式」を立案で開催する。
②午後の合同研修プログラムは小ホールの収容が430名と全参加者は収容できない。（解決案として
1期から10期の162名以外は原則立案または制限方法を検討する。）
利 点：①過去の経験則を生かせる。
②予算内で収めやすい。

プログラム（改善案）

午前 の 部 (09:15～09:45)	平成22年度第19回合同研修会「開講式」 開会の辞 伊奈連協 副会長 第16期 林 栄治 校歌斉唱 主催者挨拶 伊奈連協 会 長 第15期 島田 金藏 来賓挨拶 彩の国いきいき埼玉 理 事 長 桜井 正彦 閉会の辞 伊奈連協 副会長 第17期 樋口 勝彦
(10:00～11:50)	各期集會（各会場へ）
昼 食 (12:00～13:20)	昼食会場コフセキナー2
午後 の 部 (13:30～15:30)	IF小ホール シニアのためのトランペットコンサート&トークショー オリーブのトランペット 織田 準一（おらた じゅんいち） 音楽界の重鎮（都幾川町在住：詳細はプロフィール参照）

予 算（案）：収入予算	各期会場費	33,280
	研修費助成	100,000
	研修会費	70,000
	小 計	203,280A
支出予算	講演費計	65,000
	その他費用	30,000
	会 場 費	84,600
	小 計	179,600B(A-B)=23,680

11月7日 県活センター
第2回公開学習
12月3日 さいたま市文化センター
会報第三十九号発行

第19回合同研修会（11月26日）
専科1期校友会も担当しますので、田中校友会
会長をバックアップするためにも皆様のご協力を
お願い致します。

田中 忠さんホームページを開設しました！



郷土の会のみなさん ときたま、私達のホームページを訪れて下さい！

田中さんのURL <http://www.olff.net/HP/t-tanaka/>

岡村のURL <http://www.olff.net/HP/okamura/>

専科校友会URL <http://www.olff.net/ina-senka01/>

伊奈学園URL <http://www.olff.net/sid-ina/index.html>

ホームページ開設は伊奈ネットクラブでどうぞURL <http://www.olff.net/IINC/>

第八回 ウォーキングサークル 越谷宿

五月十八日(火)、東武線越谷駅の改札口には当日11名が集令。天気は良すぎて暑い。駅前には、再開発の大型工事が行われていて北側はシートと、大型建機が見えるだけ。

旧日光街道を北に向かい、元荒川迄進む。途中、所々に、木造の古い建屋や、蔵を見ることが出来ました。元荒川手前の土手を進み、御殿跡へ。石碑と説明板が有るだけですが、この辺りの町名がまだ御殿町となっている。すぐ先には、建長元年の板碑が有ります。越谷周辺では、一番年代的に古い物とのことです。元荒川土手を更に進み、宮前橋を渡り、久伊豆神社参道入り口へ。すぐ左は、天嶽寺入り口。参道(500m位)を進み、久伊豆神社本殿へ。途中には、立派な松の木が有り、又本殿手前には時期は終わっていますが立派な藤棚が有りその先は回遊式の池になっています。中には亀がいました。ここで休憩、昼食。

参道を戻り、となりの天嶽寺へ。越谷吾山の墓が有ります。再び旧日光街道へ戻り、照光院を見て、香取神社へ。此処の本殿の彫刻や、基礎の木組は立派な物でした。此処から、北越谷駅に行き、西口に廻り、浄光寺へ。北に向かい、文教大手前の元荒川土手沿いを歩き桜の木々の日陰で休みながら、北越谷駅に到着。本日の行程を終了。駅前で暑さしのぎと、休憩のお茶時間。楽しく一時間余の時間を過ごしました。(天谷)



市内最古の緑泥片岩の板碑、



日光道中・越谷宿の面影を残す家々

『ウィキペディア』越谷宿

越ヶ谷宿は、日本の近世にあたる江戸時代に整備され栄えていた宿場町の一つ。現在の埼玉県越谷市中心部に相当する。日光街道の江戸・日本橋から数えて3番目の宿場である。

特徴 既に鎌倉時代頃には六斎市の立つ町として栄えていた記述があり、猿島街道、赤山街道が東西南北に貫通する交通の要衝でもあった。江戸幕府の成立後すぐに日光街道の宿場に取立てられ、正式な宿場となった。また元荒川の対岸である大沢村も町場化し、越ヶ谷の伝馬上の助合村として大沢宿が成立している。後にこの越ヶ谷と大沢の二つの町を合わせた範囲が越ヶ谷宿といわれるようになり、その規模は千住に次ぐ規模となった。宿場の範囲は現在の越谷市越ヶ谷から元荒川を



久伊豆神社

渡り、同市大沢に至る範囲である。古くから栄えていた越ヶ谷側は旅籠よりも商家の比率が高いのに対し、大沢側は純粋な宿場の形態を持っており、本陣・脇本陣も大沢側に置かれていた。規模は、大沢側の本陣(福井家) 1、脇本陣2(山崎家と深野家)、旅籠大小40軒。うち、本陣付御用旅籠(脇本陣と同格の格式をもった幕府指定の旅籠の事)が16軒で、当宿の重要性が良く分かる。

1964年には現在の越谷市増林にあった御茶屋御殿を現在の御殿町に移築され、「越ヶ谷御殿」と称した。この辺りは元荒川沿いの低湿地帯で、昔は野鳥が多く、徳川家康や徳川秀忠もしばしばこの御殿に宿泊し、民情視察を兼ねて鷹狩りを重ねていた。しかし、1957年の明暦の大火により江戸城が焼失したために、この御殿を解体し、江戸城の再建に利用された。一部は一部を除き畑地として開発されたが「御殿」の名はその地名として残り、現在、「御殿町」として地名となっている。

日光街道は、日本の江戸時代に設けられていた五街道の一つ。江戸日本橋(武蔵国豊島郡日本橋、現在の東京都中央区日本橋)を起点とし、日光坊中(下野国都賀郡日光東照宮、現在の栃木県日光市山内)に至る街道。敷設の主たる目的は、歴代徳川将軍の東照大権現への参拝、すなわち日光東照宮への参詣であった。道中には21の宿場が置かれる。日本橋から宇都宮までの道程は奥州街道と共通である。現在も、国道4号(宇都宮市以南)と国道126号の通称として用いられる。